

令和8年度 府中町立府中南小学校 学校自己評価表（当初評価）

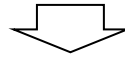
学校教育目標	自分が学ぶ みんなと学ぶ かしこく やさしく たくましく	経営理念 ミッション・ ビジョン	「共育」(子どもも大人も共に育つ学校・家庭・地域) 【使 命】 学びを通して人がつながり、共に育つ場・機会を創造する学校 【経営展望】 「らしさ」を追究し、日々の業務の充実と研鑽に励む
--------	---------------------------------	------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ビジョン (中期経営目標) 実現に向けての現 状(進捗状況)と 今年度の位置付け	本校はこれまで「命の教育」を柱に各取組を横断的につなげ、充実を図ってきた。その成果として、命を自覚化するカリキュラムマネジメントの構築や下学年が上学年の姿にあこがれる行事づくりなど、「南っこ」の強みである素直さを存分に発揮できる教育活動を創造しようとする教職員が増えてきた。それを支えるものとして、普段から地域や保護者が気安く本校を出入りし、長い目で子どもの育ちを見守り続けてくださっていることが大きいと考える。 本年度は、これまで継承されてきた各種取組を「何のために」実施しているのか全教職員で問い直ししながら、教育活動を通して顕れてくる子どもの姿に良さや価値を見出し、評言することで、“その子らしさ” “学級・学年らしさ” “学校らしさ” を追究していく。
------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価計画（中期経営目標を設定して3年目）

A 中期(3年間)経営目標	B 短期(今年度)経営目標	C 目標達成のための方策	D 評価指標	目標値 (%)	E 評価結果			
					(10)月		(2)月	
					達成値	評価	達成値	評価
a 主体的に学び続ける児童の育成	・自ら課題を見つけ、解決しようとする児童の育成	・主体的な学びを促すために「振り返り」を活用して、充実感を抱いたり、次の授業へつなげたりする授業づくり ・ループリックを活用した探究的な学びの充実 ・基礎学力の定着を図るための授業力の向上	「振り返り」により充実感を抱いたり、次の学習への見通しを持てたりした児童	80%以上				
			学期に1回以上、ループリックを活用した探究的な授業・単元づくりに取り組む教師	90%以上				
			算数科の単元末テストで、正答率70%以上の児童	85%以上				
b 読書活動の推進・充実	・自分で読みたい本を選んで読書しようとする児童の育成	・読書祭りを中心とした強化月間の設定(委員会活動とのコラボレーション) ・読書活動を取り入れた単元づくり ・リプロカードの効果的活用	自分で読みたい本を選んで読書ができる児童	80%以上				
			学期に1回以上、読書活動を取り入れた単元づくりを行った教師	90%以上				
			いろいろな種類の本を読むことができた児童	80%以上				
c 生徒指導体制の確立	・教職員による統一した指導(当たり前の文化) ・お互いの違いを認め合い、お互いを大切にする児童の育成	・異年齢や同年齢集団による協調的な関わりの場の設定(質の向上) ・各学年の取組、成果を共有する場の設定(意識の向上) ・生活目標の普及と振り返りの充実	「たてわりなどの活動では、他の学年の仲間と楽しくかかわることができた」と答えた児童	85%以上				
			「同じ学年の仲間と楽しく学んだり、活動したりすることができた」と答えた児童	90%以上				
			「生活目標を意識し、行動することができている」と答えた児童	80%以上				

d 体づくりの推進・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣の形成 ・食育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活リズムや運動習慣を意識できるよう、学期に1回、「元気もりもりウィーク」を設定 ・児童の運動習慣に対する意欲向上の取組（委員会活動とのコラボレーション） ・よく噛んで食べる意欲を育てる給食指導 ・よく噛んで食べる大切さについて啓発する取組（委員会活動やPTAとのコラボレーション） 	「元気もりもりウィーク」に週3日以上、運動や外遊びをしている児童（体育の授業時間を除く）	70%以上				
			意識して、よく噛んで食べている児童	70%以上				
e 信頼される学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「共育」活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター活動の発信、充実 ・地域と教職員の協働した取組の推進（委員会活動とのコラボレーション）（授業や放課後学習支援） ・CSに関する職員研修の実施（CS事務局やサポーターとのコラボレーション） ・働き方改革の推進（会議の効率的な運営）（業務のスクラップ&ビルド） ・子どもと向き合う時間の確保（ノー宿題デー）（授業時数短縮） 	教育活動の満足度（児童・保護者）	90%以上				
			「子どもと向き合う時間の確保ができています」と答えた教職員	80%以上				



評価基準…A：目標達成（100%以上） B：おおむね達成（80%以上100%未満） C：もう少し（60%以上80%未満） D：できていない（60%未満）
 目標値を100%として、達成率を計算する。「例 目標値85%→アンケート結果92% →目標値を超えているので評価はA」